平成21年(行コ)第269号　八ッ場ダム費用支出差止等請求住民訴訟控訴事件
控 訴 人　　柏村　忠志　外１９名
被控訴人　　茨城県知事　外１名

証拠説明書（甲Ｅ26～29）

２０１３（平成２５）年１２月１９日

東京高等裁判所　第１０民事部　　御中

控訴人ら訴訟代理人　弁護士　　谷　　萩　　陽　　一
外

甲号証	標目（原本・写し）		作成年月日	作成者	立証趣旨
甲Ｅ26	茨城県環境影響評価技術指針	写し	2007/1/9	茨城県	茨城県環境影響評価技術指針では、環境影響評価の項目等の選定にあたり、その必要と認める範囲内で、当該選定に影響を及ぼす対象事業の内容並びに対象事業が実施されるべき区域及びその周囲の自然的社会的状況に関し、地域特性に関する情報を把握すべきとして、その１つに、「史跡，名勝，天然記念物等の分布状況」を掲げていること
甲Ｅ27	群馬県環境影響評価技術指針	写し	1999/5/31	群馬県	群馬県環境影響評価技術指針では、環境影響評価の対象とする環境要素の１つとして「文化財」が掲げられ、細区分として「指定文化財等」が掲げられ、「指定文化財又はこれに準じる歴史的資源（に）対する、土地の形状の変更（

					樹木の伐採含む）等による直接的影響また、工事、施設の存在等による文化財等周辺の雰囲気その他間接影響さらに、必要に応じ、埋蔵文化財包蔵地に対する土地の形状の変更等による直接的影響」を環境影響評価の考え方として掲げていること
甲Ｅ28の1～3	新聞記事	写し	1998/11/28 1999/2/5 1999/10/28	上毛新聞社	下久保ダムの建設により名勝三波石峡の景観が失われてしまった事実等
甲Ｅ29	八ッ場ダム発掘調査集成⑴（抜粋）	写し	2002/12/	国土交通省、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団	八ッ場ダム建設予定地では、１９９４年から２００２年の発掘調査によって、縄文時代の集落の変遷を示す数多くの遺物等が発掘されたこと等
甲Ｅ30の1	東宮遺跡⑴（抜粋）	写し	2011/2	同上	八ッ場ダム建設予定地では、天明３年の浅間山大噴火に伴う泥流によって当時の生活がそのまま封印され、特に東宮遺跡では、これまでに例のない程の極めて良好な保存状況で被災した村が出土したこと等
甲Ｅ30の2	東宮遺跡⑵（抜粋）	写し	2012/3	同上	同上